

大いなる疑 (1/3) : が私たちをつくったのか?

:

明: もが抱く“大いなる”疑 に するイスラ ムの回答。

目: [事イスラ ムの信条人生の目的](#)

より: ロ レンス B ブラウン

E06 Dec 2009

集日 21 Oct 2010

人生において、もが一度はこう いかけたことがあると思います：“ が私たちをつくったの？” “なぜ私たちはここにいるの？” と。

では に、 が私たちを作ったのでしょうか？ 神 者はビッグバンや 化 を き、また の者たちは神の名を げます。“分かりません”という人たちは、意 的に自分をそういう状 に置く 神 者であると言えるでしょう。なぜなら彼らは神の存在を否定するからではなく、そう 言することが出来ないからです。

ビッグバン理 は宇宙の起源を 明出来るかもしれませんが、ビッグバンの元となった原始のガス がどのように 生 形成されたのかまでは明らかに出来ません。理 的にはこの原始的ガス がお互いを引き寄せ、 し、爆 したとされていますが、これはなぜ 生したのでしょうか？ それは私たちの 河を 成する物 だけでなく、宇宙全体の何十 にもものぼる、これまでに知られている他の 河系外星 の物 も含まれていたのです。それらの起源は何でしょうか？ が、いや何がこの原始的ガス を作ったのでしょうか？

同 に 化 は化石の存在を 明出来るかもしれませんが、人 の生命の本 であり、私たち皆が持っている魂に しては沈 してしまいます。魂について私たちはその存在を感じ取り、それについて し、そしてたびたびその救 を祈ります。しかしそれがどこから来たのかを 明出来る人々は、宗教的な人々しかいません。また自然淘汰 は生物の物 的な 面の多くを 明出来ますが、人 の魂については 明出来ていません。

更には、宇宙や生命の を研究する者は しも、神のしるし

を 言せずにはいられないのです。人々がそれを信じるかどうかは、また の です。要するに私たちが 画を ればそれを描いた画家の存在を知り、 刻を ればその 刻家の存在を知るように、 造物を れば 造者がいることを知るべきではないでしょうか？

宇宙の起源が爆 であり、不 なる事象と自然淘汰によって完全な 和が造成されたという概念は、 に何 もの爆 が投げ まれることによって、その内の一つが早かれ かれ欲した通りの色と形の完全なメルセデス ベンツを形成するのではないかという提案とこれっぽちも なってはいません。

一つ私たちにはっきりと分かっているのは、何らかの制御の きがなければ、全ての秩序は混乱に ってしまうという事 です。しかしながらビッグバン理 や 化 は、混乱が完全なる秩序をもたらしたとし、その全く逆を示すのです。ビッグバンや 化は 画的な事象であるとする方が、理にかなっているのではないのでしょうか？ そう、 造主の 画によって。

ある 牧民が、不毛の砂漠の真ん中のオアシスに精巧に造り上げられた 殿を するアラブの寓 があります。その 牧民はその住人に、どうやってそれを造ったのか ねます。住人はそれが自然の力で造られた 殿であると 明します。つまり が岩を刻んでオアシスの傍らに び み、 殿を形作り、それから羊毛の束を ねてそれが 毯や壁 けとなり、また材木が できて家具や扉、 台やふち りになり、 殿内の 格な 所に配置され、 妻は砂を溶かしてガラスにした にそれを のフレ ム内に め、それから 砂を精 して に え、それでもってフェンスや を形成した 、それらを完全な直 と左右 称に整えたのだと。しかもこの 程は何十年もかかり、地球のこの 所だけで起きたのだと。そしてそれは全くの偶然によるもの だということです。

私たちは眉に唾をぬると同 に、はっと 付きます。その 殿は明らかに 画的に建てられたのであり、それが偶然などではないことは勿 のことです。しかしそれよりも 限に巨大である私たちの宇宙と生命の起源に しては、何に（または に） されるべきなのでしょう つか？

神者によるその他の典型的な として、人々が 造において不完全と なすものに焦点を当てるといふことがあります。それらは “どこそどこで何々が起こっているというのに、どうして神が存在し得ましようか？” といった です。それらの不幸は自然 害や生まれつきの欠点、大量虐 からおばあちゃんの癌まで、多岐に渡ります。しかし はそれではありません。 は私たちが人生において不公平であると感じるものにして、神が私たちの人生を不完全なものとするはずがない、神はこの地上に正 をもたらすはずだと 定し、それを根 に神を否定することなのです。

う ん…何か他に良い 肢はないのでしょうか？

私たちは、神はこの地上における人生を ではなく としたのであり、その と は究 の正 のとされる来世でのものとした、と容易に提案することは出来ないでしょうか？ 私たちはこの概念を支持するものとして、神に ばれた 言者たちよりも 世で苦 を被った人々はいらるのだろうか、と することが出来ます。 世において遭遇した苦境にも わらず真の信仰を 持した者以外に、一体 が天国の最も高い位 を得ると予 出来るのでしょうか？

このような 理によって、最初の “大いなる ” である、「 が私たちが造ったのか」という に答えることが出来ると思います。私たちが 造物である に、神が 造主であることをめられないなどということがあるのでしょうか？

もしこの点において 成することが しいのであれば、ここから先を み める意味は余りないかも知れません。しかし 成出来る人々は、“大いなる ” 第二部へと み んでみて下さい。「なぜ私たちはここにいるのか？」 言い えれば、「人生の目的とは一体何なのか？」という いに。

Copyright 2009 Laurence B. Brown.

????????B. ???????????

????BrownL38@yahoo.com????????????????????The First and Final Commandment (Amana Publications)??**Bearing True Witness (Dar-us-Salam)**????????????????????**The English Scroll**????????The First and Final Commandment?MisGod'ed????**God'ed**????????????????????

Footnotes:

[1]

この件にしては、その宗教的 向を全て きにしても、ビル ブライソンの *Short History of Nearly Everything* 邦 題 :
「????????????????????」 (日本放送出版 会2006/03)を まれることをお めします。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/524>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。